



議会だより

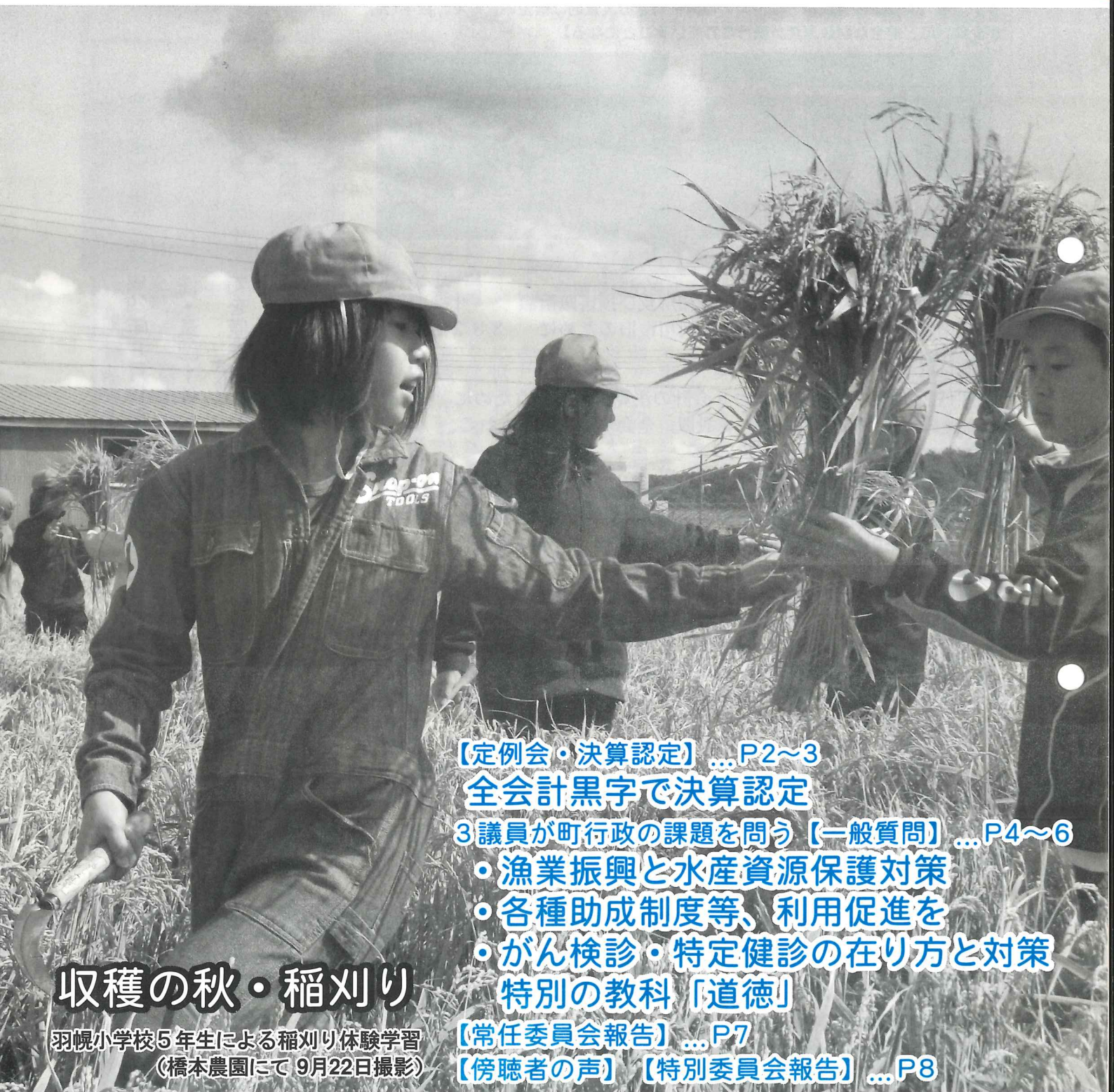
ピツシリ

第104号

2017年

10月25日

発行



【定例会・決算認定】...P2~3

全会計黒字で決算認定

3議員が町行政の課題を問う【一般質問】...P4~6

・漁業振興と水産資源保護対策

・各種助成制度等、利用促進を

・がん検診・特定健診の在り方と対策

特別の教科「道徳」

【常任委員会報告】...P7

【傍聴者の声】 【特別委員会報告】...P8

収穫の秋・稲刈り

羽幌小学校5年生による稲刈り体験学習
(橋本農園にて9月22日撮影)

ぜひ議会の傍聴にお越しください

次回の定例会は **12** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

平成28年度 実質公債費比率 9.8%

財政の健全運営を維持

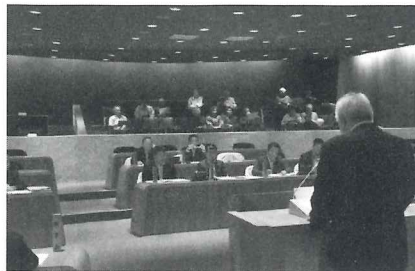
さらなる財政の健全化と効率化を

第6回

9月定例議会

(9月13日～15日)

◆用語◆【実質公債費比率とは～町の収入に対する実質的な借金の比率で、数字(%)が少ないほど健全な財政運営が執行されていることになる】



報告

- ◇役場所有車両の接触事故による和解及び損害賠償額 12万円
- ◇大雨災害の道路橋りょう復旧・河川復旧のために 3820万円

認定

- ◇平成28年度一般会計を含む8会計の決算審査を行うために特別委員会(金木委員長)を設置。全会一致で認定される。

補正

- ◇障がい者の自立支援・子育て支援などへ 1331万円
- ◇天売水産物鮮度保持施設整備の補助金 5341万円
(町負担は辺地対策事業債と繰越金で1144.5万円を予定)

■主な質疑■

【問】天売水産物鮮度保持施設の事業費に、辺地債を見込んでいるが、これが該当しなかった場合は一般財源を充てるのか。

【答】辺地債が使えない場合は、その分の補助は行わない。

【問】町長は従前から第1次産業の振興が主であると述べているが、これはまさに漁業に係る事業である。辺地債がダメなら一般財源を充てても補助すべきではないか。

【答】第1次産業の振興が最重要との思いは変わらないが、当初予算の段階で重要性を考慮し予算組をしている。今回急な事情から補正計上したが、現在の財政事情のなかで一般財源を充てることは考えていない。

発議

- ◇各委員会は所管事務について議会閉会中に継続調査を行う。
- ◇本町の懸案事項の要望のため、12月まで随時関係機関へ議員を派遣。

同意

- ◇羽幌町固定資産評価審査委員に長谷川一志氏を選任した。
- ◇羽幌町教育委員に更科礼子氏を任命した。

意見案

- ◇「森林環境税(仮称)」の創設、森林整備・治山事業の財源確保、森林整備から木材の加工・流通・利用までの一体的な取組に対する支援措置など、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実を求める。【全員賛成】

9月定例議会が平成29年9月13日から15日までの3日間の日程で開催された。今議会は、報告2件・承認1件・議案10件・同意2件・認定8件・発議3件・意見案1件が提出され、そのすべてを原案のとおり承認・認定・可決した。また、一般質問は3議員が登壇し、漁業振興・各種助成制度・がん検診・道徳教育など多岐にわたり、町側の見解を質した。

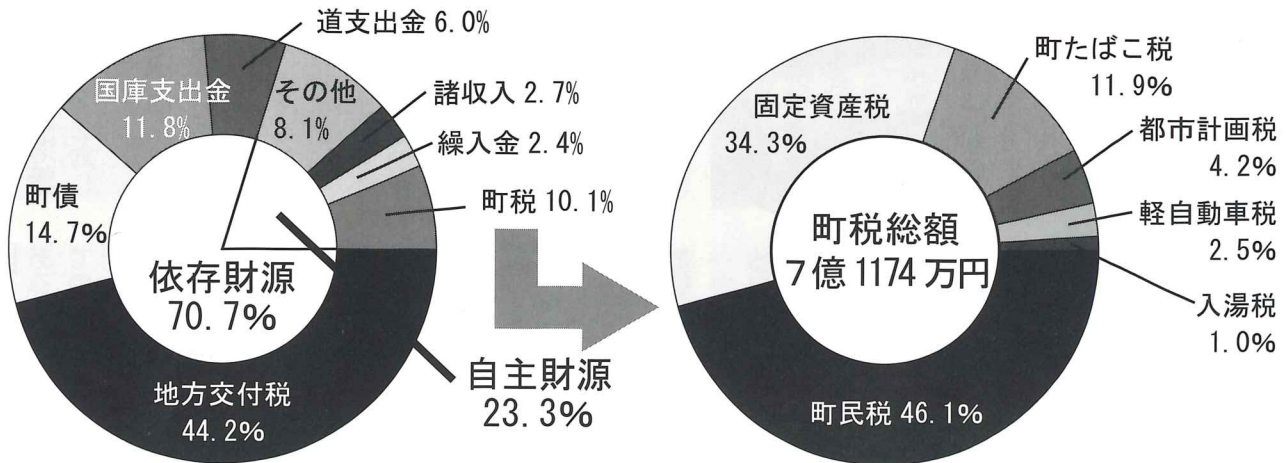
9月定例議会が平成29年9月13日から15日までの3日間の日程で開催された。

今議会は、報告2件・承認1件・議案10件・同意2件・認定8件・発議3件・意見案1件が提出され、そのすべてを原案のとおり承認・認定・可決した。また、一般質問は3議員が登壇し、漁業振興・各種助成制度・がん検診・道徳教育など多岐にわたり、町側の見解を質した。

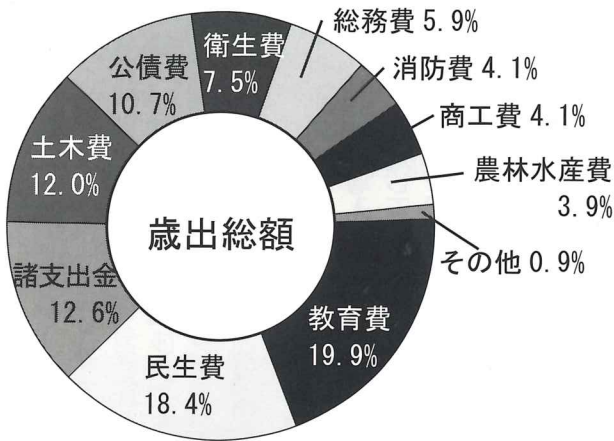
平成28年度決算を認定 すべての会計で黒字に

【一般会計歳入歳出決算額】

入ってきたお金 (70億8128万円)



出ていったお金 (68億6192万円)



一般会計では
歳入から歳出を差し引いた
2億1936万円のうち、
1億5000万円は基金へ繰り入れ
残り6936万円を翌年度に繰り越した

【特別会計歳入歳出決算額】

※千円単位切り捨て

特別会計名	入ってきたお金	出ていったお金	差引額 (残額)
国民健康保険事業	11億8479万円	11億6982万円	1497万円
後期高齢者医療	1億1569万円	1億1561万円	8万円
介護保険事業	10億518万円	9億5744万円	4773万円
下水道事業	3億8294万円	3億8294万円	0円
簡易水道事業	4072万円	4054万円	18万円
港湾上屋事業	1564万円	1564万円	0円
合計	27億4496万円	26億8199万円	6596万円

※表示単位未満数値を切捨ててしておりますので、数値が一致しない場合があります。

阿部 和也 議員



問 水産資源の保護対策を

答 資源確保に資する施策の検討

漁業振興と 水産資源保護対策

問 羽幌町の漁業に対する現状認識は。

答 町の雇用の観点からも重要な産業だと認識している。

問 現在、離島地区においては後継者・担い手不足が深刻だ。既存の助成制度以外で、何か対策を考えていくべきだと思うが。

答 雇用対策については、今後、漁業者・漁協から提案があれば、担当課と相談し進めていきたい。

問 羽幌町の特産品でもある甘えびが、2年続けたの不漁となったが、その原因をどの程度、町は把握しているのか。

答 現時点では、稚内水産試験場の方からも、まだ正確な原因がわからないと聞いている。詳細がわかり次第、町が関与できることがあれば、漁協とも相談していきたい。

問 特産品のPR活動として、現在、町外のイベントに参加しているが、次年度も継続して参加していくのか。

答 冷凍加工品の提供も考えられるが、甘えびが不漁となった場合の心配もあり、なかなか進められないが、別の方法があれば考えていきたい。

答 次年度もその方向で考えている。

問 甘えびの水揚げが減少していくなかで、ブランド力の強化が重要となる。何か考えていることはあるのか。

答 漁業者・加工業者が新型の冷凍装置も導入しており、年間を通して甘えびを供給できるが、不安な部分が見えたら、ないように進めていきたい。

問 行政の持っているルートを活かし、町としても販路開拓等を考えてみてはどうか。

問 ナマコ等の水産資源は漁業者だけではなく、行政も資源保護について考えるべきだと思うが、どのような支援・対策が考えられるのか。

問 甘えびを推しているというわりには、羽幌町に来た方に対して、街の中でのPR(看板・のぼり等)が足りないように感じるが。

答 少し寂しいと感じて



STOP! 密漁

いるが、当町には他の観光資源もあり、どのようにPRするか考えたい。

問 現在、漁協と北海道栽培公社が水産資源保護対策として、ナマコ種苗放流事業を行っているが、町も放流事業に対して支援等をすべきだと思うが。

答 種苗放流等の協議会が発足し町も参画している。他の自治体の事例も参考に、今後、種苗放流の技術的な事が明確にわかり次第、漁協とも相談し進めていきたい。

答 現時点で行政ができる支援・対策としては、密漁事案が報告されていることから、関係機関と情報を共有し、密漁防止に取り組んでいる。



町外イベントで『羽幌産甘えび』をPR!!



村田 定人 議員



問 各種助成制度等、利用促進を

答 現制度で取り進めてゆく

事業効果を引き出すため、見直しは

問 漁業新規就業者等育成事業補助制度において助成対象者の年齢制限を底上げすることや、漁船・漁具等の設備投資は高額となることも踏まえ、購入費助成額を増額しては。

答 助成対象者の年齢要件を概ね40歳以下とし、漁船・漁具等の購入助成金は50万円を上限としている。今後、離島における漁業従事者の高齢化が進んでいる状況や、組合加入動向などを総合的に勘案し、年齢要件については検討していく。また、漁船・漁具等の購入費助成については、初めて漁師として操業する若年者を対象とし、初期から高額な漁船等の建造を想定していないため、助成額の増額については考えていない。

問 中小企業特別融資制度における利子補給において、現在の低金利時代

の経済情勢を鑑み、利子補給対象1%を超える分とすることが妥当では。

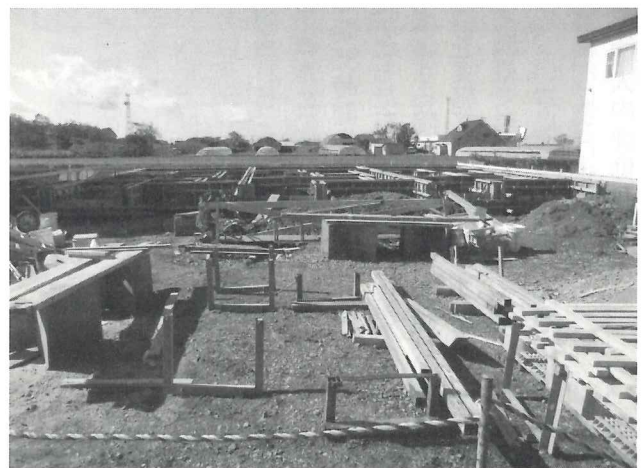
答 低金利状況が続いているが、毎年度金融機関との協定締結に係る協議において、金利変動への影響要因も可能な限り把握し、金融政策に係る動向を見据えた上で貸付利率を決めている。今後も効果的な運用を念頭に事業所への周知や金融機関との協議を経ながら制度を推進し中小企業の振興を図っていく。



高台で建設が始まった養豚場

問 企業振興促進事業補助制度において、事業所の新設・増設により取得した家屋及び償却資産に係る固定資産税等を3年間免除することになっているが、短いと思う。運営が軌道に乗るまでの間を免除期間としては。

答 過疎地域自立促進特別措置法に基づき、基準財政収入額からの控除期間を参考とし、管内5市町村も準用している。また、軌道に乗るまで延長した場合、免除期間が異なる事案や経営状況の判



栄町で建築中の賃貸集合住宅

断に相違が生じ、課税の基本原則である公平性の遵守からも現在の規定を継続する。

問 民間賃貸集合住宅建設促進助成制度において、家賃の上限設定を撤廃することや、法人が建設する従業員用宿舎も助成対象としては。

答 町内にある既存の賃貸住宅の家賃を調査しその価格を参考にし、住宅を求める方が若年層に多く見られることから、事

業者の収益を想定しながらも入居者の視点も考慮し上限額を設定した。また、町内でアパート経営を行っている方等にアンケートを実施し、後年度に本制度の活用の有無を問わず建設を計画する旨の回答が、複数の事業者から得られており現制度の改定はしない。従業員用宿舎の整備に係る助成については、本制度とは別に整備に対する助成制度の検討を進める予定。

金木直文 議員



問 前立腺がん検診の実施を

答 検診の追加は考えていない

がん検診・特定健診の在り方と対策

問 がん検診・特定健診について、先進的な自治体の取り組みなども調査しながら、がん対策と健康増進に向けた、さらなる対策を求める。検診の実態や効果などを知らせ、受診率向上をめざすべきと考えるが、見解は。

答 受診状況や検査結果については、個人ごとにデータ管理し、受診者数などの情報を広報に掲載し活用している。

問 がん検診については、集団検診に加え町内医療機関での個別検診も実施しており、さらに年齢を限定して自己負担額を無料とする「がん検診等推進事業」を行うことで受診の動機づくりを進めるとともに、今年度は無料対象者へのハガキによる個別勧奨を行い意識啓発を図っている。

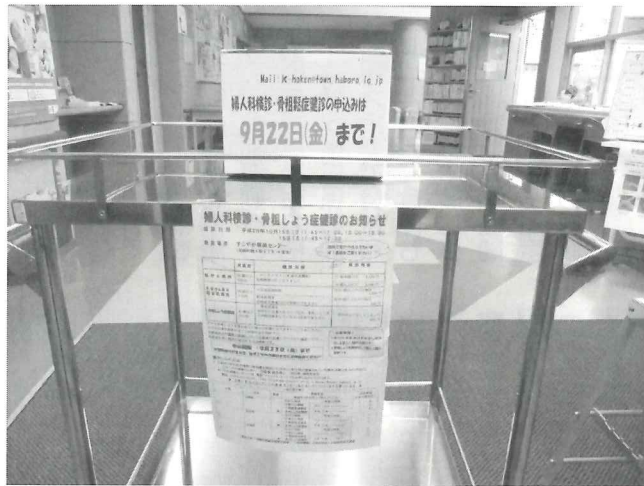
問 27年度「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」(厚生労働省健康

局がん・疾病対策課調べ)によると、前立腺がん検診(PSA検査)が1355力所、全市町村の78%と、圧倒的に多くの自治体で実施されている状況にある。羽幌町でも検診種類を見直し、前立腺がん検診を追加するべきだ、見解は。

答 町が実施するがん検診の効果や目的を考えたとき、前立腺がんに関し早急に取り組まなければならない地域課題も見えない状況から、検診の追加は考えていない。今後

も、前立腺がんに限らず、さまざまながんに関して新しい情報の収集に努めながら、がん検診を実施していく。

「PSA検査」とは前立腺液にはPSAというたんぱく質があり、血液中にも一部含まれ、前立腺に異常があると値が増えます。血液検査で測定が可能です。



婦人科検診のお知らせと受付箱

特別の教科「道徳」

う。



採択された教育出版(株)の道徳教科書

問 教科外の特別活動であった「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として教科へ格上げされ、小学校では来年度4月から本格実施される。これまでの道徳教育との違いは。

答 年間35時間単位で同じ。子どもたち自身が考え、議論する問題解決的な学習を実施する。数値による評価ではなく記述式とし、いかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価を行う

問 来年度からの使用に採択された教科書の出版社、採択理由、採択までの経緯は。

答 教育出版(株)となった。北海道の地域素材を一番多く取り上げていることが評価された。教科書選定委員の調査研究を経て、留萌管内8市町村で構成する第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会で採択した。

文教厚生常任委員会

(8月30日開催)

◆産業廃棄物処理立処分場

担当課から産業廃棄物処理施設(最終処分場)の計画概要、事業の進捗状況の説明があった。

《今後のスケジュール》

平成30年6月

施設建設工事着手

平成31年4月 移設埋立開始

平成34年3月 移設埋立終了

平成36年度 事業完了

(9月1日開催)

◆羽幌小学校改築事業

進捗状況(視察)

Ⅱ期工事(職員室・音楽室等)が、6月に工事が完了したので現地視察を行った。



羽小ギャラリーを視察

◆給食センター空調設備

8月に空調機械本体交換工事が完了したので現地視察を行った。



空調機械の説明を受ける

◆天売高校学生寮

担当課から管理人及び調理員の募集等についての説明を受けた。なお、施設の状態については、7月に現地視察を行っている。



天売高校学生寮予定施設

総務産業常任委員会

(8月3日開催)

◆農業の現状と 就業・後継者対策

担当課から主要作物の販売高、主な補助事業、後継者問題などについて説明を受けた。また、農業現場での状況をより詳しく調査するため、オロロン農協の役員に参考人として出席を求めた。長谷川組合長からは、広域農協となつて15年目を迎え、28年度実績は55億円以上の販売高で、羽幌町全体では酪農も含め、約18億円の販売高であること、米の直接払い制度が来年からなくなり、地区や北海道で対策協議が行われていること、新規就農や研修生の受け入れ体制が重要などの説明があった。

《主な質疑》

【質問】今後の婚活事業は。

【回答】担い手協議会に補助金を出してきた。継続の声があれば柔軟に対応したい。

【質問】繁忙期の人手不足対策は。

【回答】特に行っていない。

【意見】初山別のような従業員派遣システムの取り組みを。

(8月4日開催)

◆漁業の現状と 就業・後継者対策

担当課から漁獲量・漁獲高の現状、新規就業者等育成事業の内容や実績などについて説明を受けた。また、漁業現場での状況をより詳しく調査するため、北るもい漁協の役員に参考人として出席を求めた。今組合長からは、昨年度、合併後最高の62億円を超える水揚げがあったこと、エビかご船が9隻から7隻体制となり、水揚げ減少の大きな痛手となること、トド等の海獣被害も後を絶たず、対策が進められているもの、手詰まり状態にあること、ホタテ関係では外国人研修生が5名従事していることなどの説明があった。

《主な質疑》

【質問】後継者の婚姻状況は。

【回答】39歳以下9名で、おむね結婚されている。

【質問】新規就業者支援補助は50万円限度。見直す考えは。

【回答】他業種との比較や漁協との連携を深め対応したい。

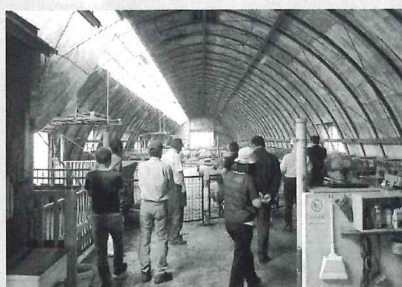
総務産業・文教厚生 合同離島視察

(7月19日視察)

◆焼尻地区

- ・焼尻郷土資料館
- ・焼尻めん羊牧場
- ・焼尻小・中学校
- ・焼尻発電所
- ・焼尻診療所

- ・北るもい漁協焼尻支所
- ・焼尻港



焼尻めん羊牧場視察

◆天売地区

- ・天売高校学生寮予定施設
- ・天売高校
- ・天売診療所
- ・天売小・中学校
- ・天売教職員住宅建設現場
- ・北るもい漁協天売支所
- ・天売港

傍聴者の声

今回は老人クラブの皆様が20名傍聴に来て頂きました。後日インタビューしました。



羽幌町老人クラブ連合会 理事
中村 重昭さん (72)

【Q】今回は老人クラブの皆様に来て頂きましたが、議会の傍聴は何回目ですか？

【A】老人クラブに入ってから7年目で7回目になります。毎年9月議会に来ています。

【Q】議会を傍聴してどうでしたか？

【A】一般質問を傍聴したのですが、時間が足りなくて最後まできちんとした答えがなく終わった気がする。時間が短いのか、問題が多いのかわからないが。

【Q】町の課題や困っていることはありますか？

【A】働く場所がないのか、町に若い人が少なくなっている。

【Q】議会に一言。

【A】町のために一生懸命やっているとと思うが、これまでに以上に町民のためにうまくやって、頑張ってもらいたい。

議会・行政改革 特別委員会

（7月31日開催）

各分科会の調査事項の報告後、質疑・議論を行った。

【第1分科会所管事項】

- ・傍聴規則の変更を行い、また本会議・委員会等での議案資料の配布についても検討する。

【第2分科会所管事項】

- ・留萌管内での議会報告会やネット中継・議事録の公開についてのアンケート結果を報告。全体で協議をした。

【第3分科会所管事項】

芽室町議会の視察を基に羽幌町議会としての今後取り組むべき優先順位等のアンケートを行うこととした。

（9月1日開催）

各分科会での追加の資料を集め調査結果を報告する。過去の議会報告会の資料を提出し、今後の方向性を提案。

前回の議会改革等のアンケート結果を報告、次回までに検証し、まとめることになる。

医療問題調査 研究特別委員会

（9月14日開催）

天売診療所常勤医師不在続く担当課から天売診療所の現状について説明を受けた。

4月に着任した医師が8月末に退職し、現在医師が常駐していない状況である。現在は隔週で3日程度、医師が派遣されているが、医師不在の日もあることから、島民は不安な生活を送っている。

町も北海道に要請を行っている。また、緊急時の体制も整えていく。

議会も現状を早期に解決すべく、町と共に医師確保に向けてさまざまな要望活動を行うっていくこととした。



北海道道立天売診療所

道内行政視察

（7月3日視察）

芽室町（十勝）議会視察

議会改革を進めるために芽室町議会は全国的に議会改革が進んだ議会として全国から視察が訪れている。

羽幌町議会も「議会・行政改革特別委員会」を設置し、議会改革を進めるべく、先進地である芽室町議会の視察を行った。

【芽室町議会の取り組み】

- ・議会基本条例の制定
 - ・インターネット中継
 - ・タブレット端末の活用
 - ・議会サポーター制度
 - ・通年議会
 - ・議会白書等
- さまざまな取り組みを行っているが、議会基本条例を制定することが目的ではなく、条例の進行管理を行うことが大事。具体的な議会活性化計画が重要であり、毎年条例の点検や見直し、「自己・委員会・議会評価」を行っていくことが大事である。

羽幌町議会もこの研修・視察を今後の特別委員会で見学していきたい。



芽室町議会議場にて研修

（7月5日視察）
株北海道中央牧場

千歳農場視察

株北海道中央牧場の「繁殖生産基地・増産計画」について担当者から説明を受け、施設内を見学する。

機械化され、衛生面や周辺環境にも配慮がなされている。今年度中に羽幌町内にも施設の建設を計画している。



施設内を見学